

ルールブックに書いてなかった確認事項

■ 図 2.1 仮設現場の平面図

架設現場の幅：3m

テープが貼ってあるので、はみ出さないように架設してください。

テープの外側から外側の距離を 3m とする。

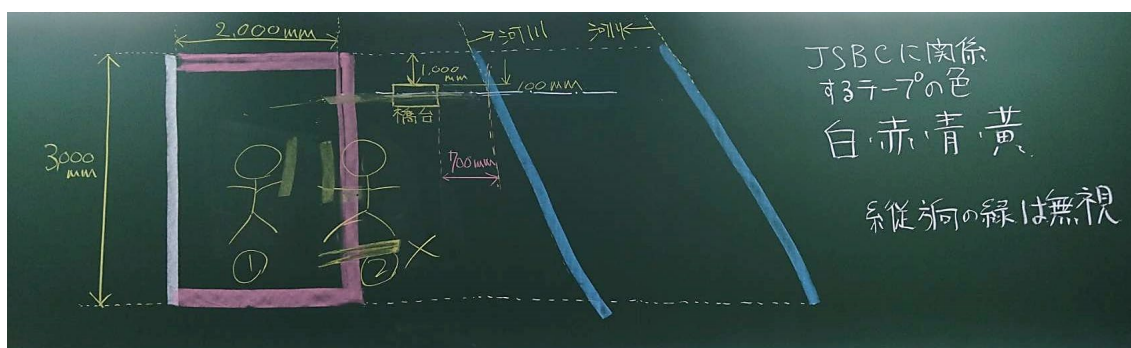
足がテープからはみ出したら架設ヤードから出たことになる。

■ 河川の範囲：青のテープの間が河川（青テープの上は河川）

→陸上作業者が青テープを踏んではいけない。

■ 仮設現場幅方向の端から 1000mm の位置に橋台があり、そこから 100mm の位置を基準として河川から 700mm の位置に橋台を設置している。

■ 幅方向に緑のテープが貼っている部分があるが、緑のテープは仮設現場と関係ないので注意。（JSBC に関するテープの色：白・赤・青・黄）



■ 他の大学の行為で違反と思うものがある場合は、証拠がないと判断ができないため、動画等を取っておいてほしい。

8/24 キャプテンミーティング後の質問

■ 万力を使っても良いか

→万力は使っても良いが工具として使うこと。使用中に万力から手を放すこと（部材を固定したまま別の作業をする等）は認めない。部材を塑性変形させることは認めない。

Q&A (9/6 キャプテンミーティング)

- テープを踏んでも良いのか
→架設ヤード幅方向(3m)はテープの外側から外側の距離(テープを踏んでも良いがはみ出したらアウト)
→架設ヤード長さ方向(2m)はテープの内側から内側の距離(テープを踏んだらアウト)

- 木植はOKだったかヘッドがゴム製は良いか
→使用は問題ない。塑性変形はさせないこと

- 紙コップにボルトを入れて準備をし、紙コップからボルトをポーチに移動させた後に紙コップをポケットに入れても良いか
→ポーチと同じ扱いなので、問題ない

- 車両通行区間について、橋台部分の横桁を忘れてしまったが、橋梁として認められるか
→問題ありません。ただし、載荷中に明らかに崩壊しそうな挙動を示した場合は、審判判断で載荷競技を止める可能性がある。

- 上の質問に関連して、他の大学で時間短縮のために横桁を抜くのは良いか。
→時間内に架設できないと判断して横桁等の架設をやめることはできない。架設終了後に架設ヤードに部材があることは認めない。

- 架設部をスライドさせることは可能ですか。橋台に設置しているのは二点か一点か。
→少なくとも一点設置していれば良い。

- ボルトをプラスチックの箱に入れて橋台に置いた場合、陸上作業者はとっても良いか。
→河川作業者は取ってはいけないが、陸上作業者は大丈夫。橋台を介した工具の受け渡しは認めないが、部材(架設ブロック)は取っても良い。

- 河川作業者が腕だけ伸ばしてボルト締め等の作業をしても良いか。
→問題ない。橋梁にもたれかかるなどの行為は認めない。

- ルールブック p.12 橋台の上に部材を乗せる時に平積みと書いてあるが、横方向においても良いか。
→橋台に接するように平積みしてもらえば良い。

- 差し込み式の接続部で差し込んだ状態で安定はするが、ボルトを差し込んだ状態で安定と判断するのか。運ぶのは2人だが、どの段階で手を離しても良いのか。
→ボルトをさした状態であれば問題ない。ナットは閉めずに手を放しても良いが、それにより不安定になり倒れたりすることに注意すること。
- 輸送の際に溶接が取れてしまい、室蘭工業大学の設備を借りて溶接をし直したが、ルール上問題ないか。
→問題なし。既定のサイズでボックスに入れば問題ない。
- 陸上作業員が架設ヤードの外から架設ヤード内にある部材を取ることできるか。
→学生間の話し合いで合意が取れれば認める。キャプテンミーティングの話し合いにより、今大会は架設ヤード内にある部材を陸上作業員が架設ヤードの外から取っても良い。ただし、片足は架設ヤードに設置する必要がある。また、架設ヤード内でボルトや部材の落下があった場合にペナルティは取らない。
- 3.2.6(6)に関して、架設ヤード上空で作業をできないというのは、ボルトなどを締めることなのか。どこまで作業ができるのか。
→架設ヤードを跨いだ状態でできるのは運搬作業であり、架設作業（ボルトを締める等）は行うことはできない。
- 横桁を事前に外しておいても良いことになったが、他の部材には適用されるのか。
→床板の載せるための横桁以外は問題ない。
- 橋台に触れていれば架設部になるが、支えるのは一人で良いか。
→支えている状態で安定するのであれば、一人でも問題ない。
- 架設ヤード内で3部材組み立てたのを一人で持ち上げることはできるが、そこから運搬する際にもう一人の陸上作業員の片足が架設ヤードに完全に設置していれば良いか。
→問題ない。
- 架設ブロックの運搬について、2人で運ぶ必要があるが、3人で2つの架設ブロックを運ぶことはできるか（1人が2つの架設ブロックを持つ）
→3.2.6(2)に近い回答であるが、認めない。また、架設ブロックを持っている人は他の部材を持つこともできない。

- 禁止事項, ペナルティに関して, 一端協議を止める場合はストップウォッチを止めるのか.
 - →禁止事項に書いてあるが, ペナルティに書いていない場合は審判が作業を止めさせ, 元の状態に戻させて再開するため, 一度ストップウォッチを止めて作業を止めさせ, 元の状態に戻させて再開と同時にストップウォッチも再開する. ただし, 作業中にタイミング的に止められなかった場合は, 協議の上ペナルティとして換算する.
また, 学生審判が禁止行為を見つけた場合にも適用するが, 審判の判断に任せる.

- 橋台の移動がペナルティとなっているが, 橋台が動かないように手で抑えても良いか.
 - 橋台が動かないようにする目的のためなら問題ない.

- 修理に関して, 修理前に確認作業はできるのか.
 - 架設完了時の安定のコールの後, 橋梁には触ることはできないが, 目視で確認するボルトの緩みなどを確認することができる. 修理をするか決めることができる.

- 架設部を支える人がいる場合に, その人に部材を渡して作業してもらうことはできるか
 - 問題ない

- 架設部が安定していない場合は支える必要があるが, 他の作業者は別の作業をしても良いか.
 - 問題ない. 架設部を2つ以上支えることもできる.

- 架設ヤードにおいてある部材を陸上作業者が架設ヤード外から取る時に片足を架設ヤードに設置させる必要があるが, 架設ヤード内の作業員から架設ヤード外の陸上作業員に部材を渡すことはできるか.
 - 問題ない

- 橋台に部材を置くときは平置きとあるが, ボルト・ナットも平置きか.
 - ボルト, ナットは平置きと規定はしない. 例えば紙コップ等に入れておくことが可能.

- 3.2.6(8)について, 座り込むの定義は何か. 膝立ちをずっとしているのは認められるのか.
 - 安全面に関わる. 膝立ちは良いが, すぐに立てない, 動けない状態は認めない.

- 最後に安定という状態について、河川作業員が完成した橋梁の内側にいるのは良いか。
→橋に触れていなければ問題ない。

競技部会よりお知らせ

学生の皆さんにも審判（副審）をお願いしています。担当の大学は2名の代表者を選出し、時間になったら競技場所に行ってください。架設競技・載荷競技の両方に審判があるので、忘れないようにしてください。また、審判の先生と連携を取って何をするかを始まる前に確認するようにしてください。